

## 『知内町ニラ生産組合』創立四〇周年にあたって

上磯郡知内町 大嶋 貢

知内町と言えば「ニラ」道南で農業を営んでる方なら、ほとんどの方がそう答えるでしょう。

知内町は一次産業が盛んな町で、漁業ではカキ・マコガレイ等も有名であり、山の幸・海の幸が豊富な町です。

私は、この知内町ニラ生産組織の役員を務めております。このたび、生産組合が創立四〇周年を迎えることとなり、こんには創立四〇周年記念式典の実行委員として、日々準備に追われています。

昭和四五年に始ったニラ栽培は、試行錯誤と永年の研究の蓄積で、今では産地化が進み、共販体制、品質・規格の統一化により、安全・安心なニラを消費地に供給出来る、生産体制の構築をすることが出来ました。又、共同作業を通じて仲間作りを行い「人の和」による組織活動から北海道を代表する一大産地となりました。

この四〇年の歩みは、まさに激動の歩みでもあり、長い歴史の中で今日の姿があるのは、発足者の八名並びに関係者が幅広い視野と先見の明を持ち、時代の流れを的確に把握され、かつ冷静なる判断・英断を持って、組合の針路を定められたものであり、その先人達の功績で成り立っています。

知内町ニラ生産組合には理念があります。

一つ目に・・・

共同作業を通じて仲間作りを行い「人の和」による組織活動を行います。

二つ目に・・・

常に良質のニラ生産に努め、消費者に支えられた「ニラ」だという事を常に忘れません。

三つ目に・・・

北海道を代表する産地としての自覚を常に持ちます。

この三つの理念をニラ組合員は常に掲げて、

今日まで培った信頼を崩さぬよう努めます。

今後、益々多様化する環境に即応すべく、生産者のもとより、役員一同新たな目標に向って誓いを立てています。

全道を代表する産地の皆様、負わず劣らず、頑張りましょう。

